

佐賀県唐津市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ 2022

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、お土産、観光……自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型ワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは、成長の機会になります。

おススメのポイント！

- 「唐津産品」を実際に味わい、単なる魅力発信に留まらない施策の提案を目指すことができます。
- 生産者や自治体担当者、地域にお住まいの方々のお話を直接伺う機会があります。
- グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。

テーマ

「唐津産品」をもっと知ってもらうには？
～魅力を発信し、販売促進につながる施策を提案せよ！～

唐津市は豊かな自然環境と確かな生産技術による魅力的な産品（＝「唐津産品」）が豊富な地域ですが、全国での知名度は高くないため、認知度の向上が課題と捉えています。

そこで唐津市では、**大消費地「東京」における唐津産品の地域外消費を拡大**させるべく、野菜、果物、肉、魚、加工品、酒類、唐津焼などあらゆる唐津産品の魅力発信・販売促進の取り組みを行っております。

今回のワークショップでは、**「唐津産品の認知度向上」をテーマに設定**し、唐津市での現地ヒアリング（地域生産者や団体、自治体等）を通じて現状について知り、最終的に学生目線で市に対して販売促進につながるような具体的な提案をしていただきます。地場産品の魅力発信によるファン獲得に向けたプロセスを体験してみませんか？

唐津市の魅力

佐賀県の北西部に位置する唐津市は、古来より大陸との交流窓口として発展してきた経緯があり、「肥前名護屋城跡」などの歴史遺産、「唐津くんち」をはじめとした伝統的な祭りや「唐津焼」などに代表される多彩な文化、そして風光明媚な海・山・川に恵まれた美しい景色など、数多くの地域の宝を持っています。また、温暖な気候を活かし、ハウスマカンやイチゴ、ブランド米の栽培が盛んなほか、「佐賀牛」や「呼子のイカ」といった山海の幸に恵まれたところです。



募集概要

募集期間	2022年6月3日(金)～6月17日(金) 17:00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程) (学部、専攻、学年問わず)
応募条件	原則として事前説明会(オンライン)への出席 および 全ての公式日程(次頁)への参加が可能なこと
募集人数	2チーム(10名程度)
応募方法	<p>事前説明会(オンライン)について【要申し込み】 日時: 6/7(火)、6/8(水)、6/9(木)、6/10(金)、6/13(月)、6/15(水) 12:20～12:40(全日程) ※申し込み方法などの詳細は、Waseda メールもしくは Web ページ上でのご案内に記載しています。 ※すべての回で内容は同じです。上記6日程のうち、いずれかの回にご参加ください。 ※事前相談会(12:40～13:00)も上記の日程で実施します(参加は任意です)。</p> <p>(説明会出席後) 以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。</p> <ol style="list-style-type: none">① MyWASEDA の「お知らせ一覧」から「地域連携ワークショップ 2022 夏編」を検索② 「地域連携ワークショップ 2022 夏編応募フォーム」から「申請」をクリック③ 必要事項(志望理由 400 字程度)を入力して申請 
選考方法	書類選考: 結果通知は 2022年6月27日(月) 12:00までにWasedaメール にて通知します。 ※面接選考(オンライン)を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。
注意事項	<ol style="list-style-type: none">① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。② フィールドワーク(現地調査)の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は早稲田キャンパス、唐津市内となります。③ 【重要】公式日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。④ 【重要】フィールドワークへの参加にあたっては出発前にPCR検査等を受検し、結果を提出いただく必要があります。受検方法、スケジュール等は参加者にご案内します。⑤ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては対面でのイベント(オリエンテーションやフィールドワーク等)がオンラインでの実施に切り替わる可能性があります。その場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。⑥ 参加にかかる費用(現地までの交通費[*]、フィールドワーク期間中の食費、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費など)は参加者による実費負担です。宿泊は唐津市内のホテルを利用します(市が手配、宿泊費無料)。なお、WSC メンバーズ基金(WASEDA サポートーズ倶楽部)からの支援により、5,000円～10,000円が補助されます(金額はワークショップ開始時にご案内します)。 ※交通費の目安(片道・ご参考): 羽田空港～福岡空港(20,000円前後) + 福岡空港～唐津市内(地下鉄利用 1,200円)⑦ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施されるプロフェッショナルズ・ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。⑧ 当ワークショップは複数の地域(第2希望まで)に応募することができますが、最終的に参加できるのは1地域のみです。当地域を第1希望として申請し、選考を通過した場合はその時点で第2希望の地域のワークショップには参加できなくなります。⑨ 早稲田大学の学生補償制度に加入いただきますが、新型コロナウイルスは補償の対象外となります。⑩ ワークショップ実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。⑪ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	教務部教育連携課 (rbsso@list.waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

ワークショップスケジュール（公式日程）

	予定	日程	内容
①	オリエンテーション @早稲田大学	2022年 7月6日（水） 16:30～19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者顔合わせ ・自治体担当者からの説明（オンライン） ・課題および課題設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認 ・事前調査の内容説明
②	事前調査期間	オリエンテーション ～7月29日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津市やテーマに関する調査／情報収集を行い、チームとしての仮説を立てる ・ヒアリングに関する事項（ヒアリング希望先、質問内容など）を検討し、<u>7月22日（金）までに自治体へ提出する</u> ・授業や試験・レポート対応の合間でグループワークを実施し、議論を深める
③	フィールドワーク @唐津市	8月1日（月） ～8月4日（木） 【3泊4日】	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津産品の生産者、自治体、関係団体等へのヒアリングを実施
④	オンラインヒアリング （@Zoom）	8月5日（金）・ 8月8日（月）～ 8月10日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査やフィールドワークに加え、提案の検証に必要なヒアリングを行う <p>※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくようしてください。</p>
⑤	進捗報告会 （@Zoom）	8月10日（水） 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査期間に設定した仮説などに関する報告 ・フィールドワークやヒアリングを経て中間／最終報告会に向けてやるべきことを洗い出す
⑥	中間報告会 @早稲田大学	8月24日（水） 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の報告を行い、参加者からフィードバックをもらう <p>※自治体担当者（@オンライン）、大学職員のほか過去のワークショップ経験学生もオブザーバーとして参加予定です。</p>
⑦	最終報告会準備・ 追加調査期間	中間報告会 ～9月2日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告会でのフィードバック等をふまえたブラッシュアップ ・各チームの状況に応じてリハーサル（対面 or オンライン）を実施 ・提案の再検証（必要に応じて追加のヒアリングを実施）
⑧	最終報告会 @早稲田大学	9月5日（月） 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> ・市長など自治体関係者や地域住民の方々（@オンライン）に向けて提案を発表（約2時間） <p>※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会（1時間程度）を実施するため、<u>解散時刻は18:00頃</u>となります。</p>

※上記以外の日程は必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員や自治体関係者が参加することもあります）。

実施の流れ

- オリエンテーション：自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く
↓
- 事前調査：
個人、チーム単位で地域やテーマについて調査。
課題に対する仮説を設定し、提案の方向性をまとめる。
どのような方にヒアリングしたいのか、どのような質問をしたいのかりスト化
↓
- 現地調査・ヒアリング：
自治体関係者、地域住民へのヒアリング（対面＋オンライン）
↓
- 最終提案資料作成：
現地調査やヒアリングなどを踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
↓
- 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション

学生同士で時間を決め、対面での打合せや Zoom 等で議論を進める

過去のワークショップ参加学生の声

※当地域の参加学生以外のものも含まれます。

ワークショップでの活動を振り返って

- 「学生だけじゃ何も変えられない」から「学生だから変えられる」という経験ができました。（社会科学部 1 年）
- インターネットで得られる情報は一部に過ぎず、生の声を聞いて初めてわかることがたくさんあった。（中略）また、自分のアイデアを言語化する難しさを痛感した。（文化構想学部 2 年）
- 今までにない視点を発見することができたことがもっとも大きな収穫でした。（中略）机上の空論でない地方創生とは何かを学ぶことが出来ました。なかなか大学にいても学べないことであったので貴重な経験となりました。（政治経済学部 3 年）

チームメンバーとの関わりを通して

- 元々考えていた案がヒアリングなどを通じて崩れても、また新たなものを考えようと前向きになれたり、（中略）ひとりではなくチームで提案を構築することの素晴らしさや難しさを体験できたので、今後に活かしていきたいです。（教育学部 2 年）
- 自分の長所や短所を発見することができ、意見を出すことの躊躇いなくなりました。小さな意見や変わった意見でも言葉にすることで、新たな提案に繋がったこともあったため、発言に自信を持てるようになりました。（スポーツ科学部 2 年）
- あまり自己主張が得意ではなく、自己肯定感も低めだった自分ですが、今回の WS を通して相手の考えを尊重しながらも自分の意見を主張する大切さを学び、自分の得意なこともチームメンバーに教えてもらいました。（人間科学部 3 年）

「地域貢献」「地方創生」に対する考えの変化

- 自分が住む地域をよりよくするために、行政の方々だけでなく、ヒアリングでお伺いした多くの方々それぞれ熱い思いをもって様々なことを考えていらっしやることがとても印象的でした。今思えば、ワークショップ参加前は「地域貢献」「地方創生」といったキーワードを軽く考えていたと思います。（教育学部 1 年）
- ヒアリングを通して、「地域貢献」「地方創生」はその地域に愛着をもって創生したいと思って進んでいる方々を尊敬し、その方々が感じている魅力に寄り添っていき延長線上にあると強く意識するようになりました。（創造理工学部 1 年）